

1 本日の予定

資料1

- ① 6/8（土）ワークショップ報告
- ② 整備の基本的考え方の確認
（先進整備事例、先進取組、
他自治体インクルーシブ公園考え方の共有）
- ③ ガイドライン素案の確認 ※詳細別資料参照
- ④ 社会実験企画案の共有
- ⑤ 今後のスケジュールについて

① 6/8 (土) ワークショップ報告

■概要

守谷市誰もが遊べる公園広場整備ガイドラインの作成にあたり、市民の意見を反映するためのワークショップを実施します。参加者が他の公園利用者の目線に立ち、意見やアイデアを出し合いながらガイドラインの策定に向けて、グループごとに公園広場の模型作成ワークをおこないました。

■目的

ガイドラインを策定するプロセスにおいて、公園の現状と未来像について共に考える場を設け、市民の皆様からの意見やアイデアを直接聞くこと。

■日時

2024年6月8日 (土) 13:00~16:00

■場所

ログハウス(国際交流研修センター)：〒302-0106守谷市緑2丁目1番地1

■参加者

全28名(4才~70代) + 4名(守谷市建設課)

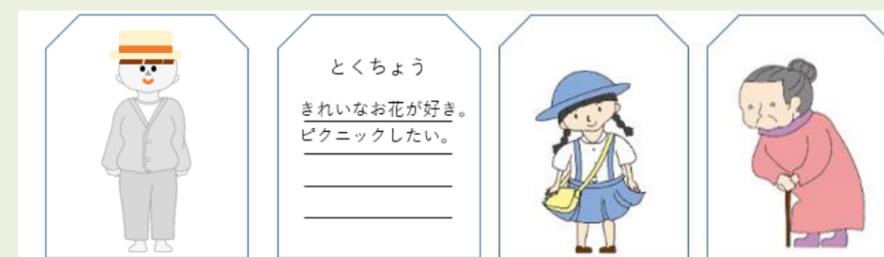
■ワーク内容

年代別に6つのグループに分かれ、それぞれ目指す公園を設定しました。3つのステップを踏んで「誰もが遊べる公園広場」の具体例を作成し、最終完成物を発表していただきました。

	年代	目指す公園
1	20~40代	幅広い世代のニーズに対応できる公園
2	小学生高学年中心	気軽に運動のできる公園
3	小学生低学年中心	子どものあそび場として充実した公園
4	40代	高齢者も含めて健康づくりができる公園
5	50代	幅広い世代のニーズに対応できる公園
6	60~70代	高齢者を中心としながら子どもも遊べる公園

STEP 1 : 利用者を知る「公園広場にいるのは誰だろう？」

「誰もが遊べる公園広場」を考える上で、その「誰もが」の意味を理解することを目的とします。年齢や性別、障がいの有無を含め、公園広場を利用する人の様々な特徴を知る機会とします。(グループごとに、課題として設けられた公園広場想定利用者の特徴を理解する。)



自分・お友達カード

STEP 2 : 機能を考える「公園広場をデザインしてみよう！」

公園広場内に求める機能の選定をおこない、実際に空間配置をします。現状の公園広場の問題点や改善点を具体的に空間に落とし込み考えていきます。(グループごとに、設けられた公園広場周辺要素を考慮した内容で求められている機能を選定する。)



マーカーやアイテムカードを使って公園を整備

STEP 3 : アイデアを共有する「公園広場を発表しよう！」

グループごとに考えた公園広場を発表する。誰もが遊べる公園広場になるように工夫した点を紹介していきます。

■ワークショップの様子写真



▲会場風景



▲そら一ち綿引さんより公園体験談



▲グループワーク風景

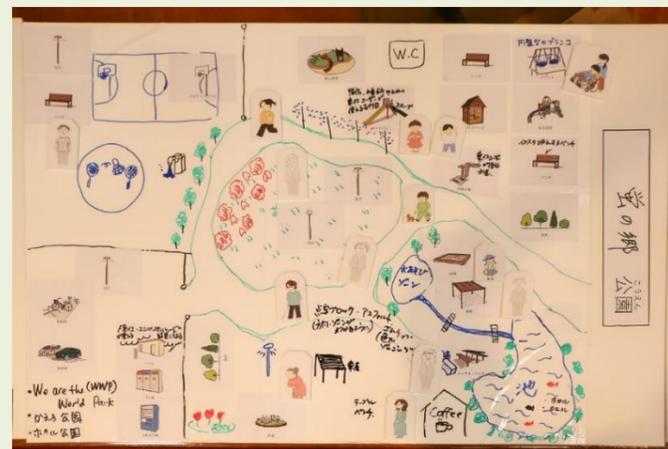


▲発表風景



▲集合写真

■成果物



▲1班 (幅広い世代のニーズに対応できる公園)



▲2班 (気軽に運動のできる公園)



▲3班 (子どものあそび場として充実した公園)



▲4班 (高齢者も含めて健康づくりができる公園)



▲5班 (幅広い世代のニーズに対応できる公園)



▲6班 (高齢者を中心としながら子どもも遊べる公園)



▲建設課 (幅広い世代のニーズに対応できる公園)

ワークショップまとめ
 6つの目指す公園を掲げてアイデアを出していただいた。
 それぞれ配置に少し差はあるものの求める施設機能については、インクルーシブ遊具（誰もが一緒に遊べる）、砂場、テーブルベンチ、水飲み、時計、芝生広場、ウォーキングコース、安全のためのゴムチップ舗装、ボール遊び広場など大きな差はなく、ほぼ同一の意見が得られた。

② 整備の基本的な考え方について（先進改修事例）

■ 先進改修事例

埼玉県春日部市 藤塚第3公園

小規模公園全体の動線に配慮し施設配置も含めてインクルーシブの視点で改修した代表的事例
 ⇒子育て世代を中心に子どもから高齢者までの幅広い世代と一緒に触れ合える公園の再整備を行うため、リニューアル事業として、樹木により見通しの悪い箇所を、園路等に変更し人の流れをつくった。



北海道札幌市 八軒ひかり公園

遊具を中心とした子どものあそび場として地域の核となる公園に機能を変更した代表的事例



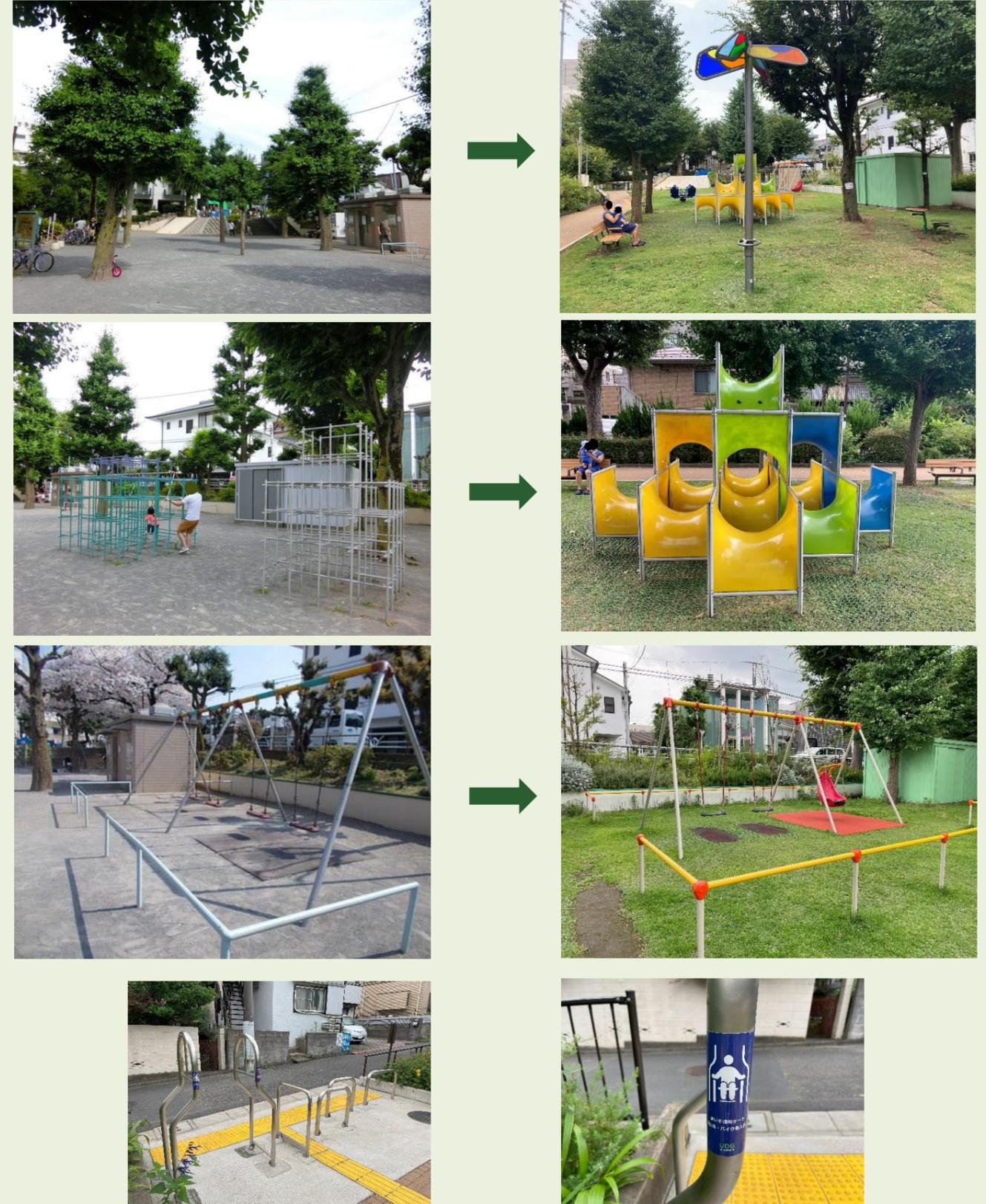
北海道札幌市 八軒さくらぎ公園

砂場を撤去して広場機能に特化した小規模公園再整備の代表的事例



東京都渋谷区 恵比寿南二公園

入口、遊具含めた小規模公園全体をインクルーシブの視点で改修した代表的事例



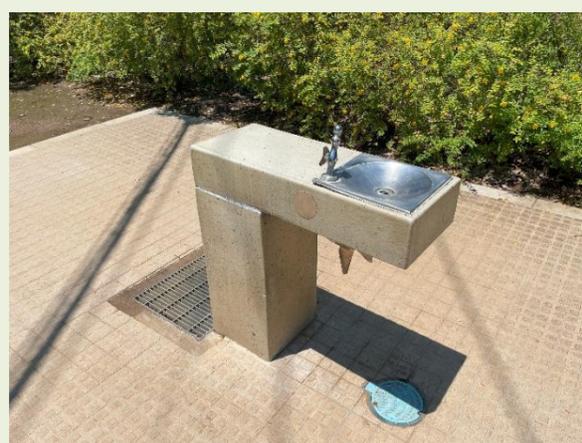
▲車いす対応車止め

▲ピクトグラムサイン

② 整備の基本的な考え方について（先進改修事例）

■ 先進改修事例

千葉県柏市 柏ふるさと公園
遊具、園路、トイレ、水飲み、
広場床面をインクルーシブの視点で改修した
近隣の代表的事例



東京都足立区 新田さくら公園

車いすのまま楽しむことができる公園の一角にあるバラ花壇の事例



平塚市総合公園

誰もが一緒にいることが当たり前を環境を目指して障がい者団体と対話して整備した代表的事例



▲音遊具



▲段違い砂場



▲見守り空間

国営昭和記念公園

臭いや汚れのもととなるイチョウの大木をアート作品に改修した珍しい事例



② 整備の基本的な考え方について（先進取組事例）

■ 先進取組事例

※2024年4月 国土交通省「みんなが遊べる、みんなで育てる 都市公園の遊び場づくり参考事例集」より

東京都品川区 大井坂下公園

あそび場の計画から子どもが参画した代表的事例

区内の小学生3・4年生を対象に ワークショップを合計6回実施し、各回の内容をかわら版としてまとめて参加者に配布するなどの工夫を行った。子どもたちが考えたアイデアは80個以上にのぼり、そのうち31個のアイデアを採用した。



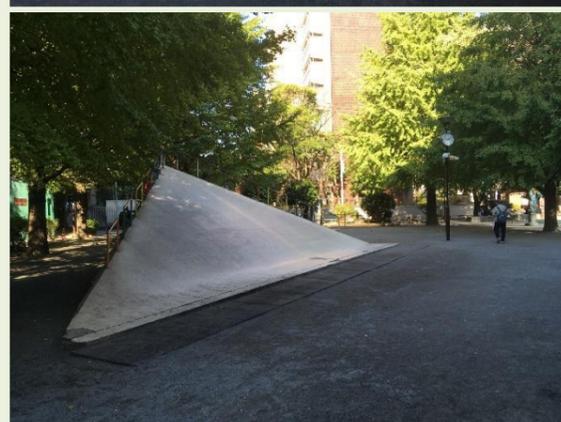
▲かわらばん



▲公園模型



▲各グループまとめ



三重県伊勢市 大仏山公園

小学校でインクルーシブな公園を考える授業を行い、遊具に意見を反映した代表的事例

WEBでの市民アンケートに加え、市立小学校2校の「インクルーシブな公園を考える授業」で子どもたちにどのような公園だったらよいか、どのような遊具があるとよいか考えてもらい、新たに設置する遊具にその意見を取り入れた。



■ 他自治体のインクルーシブ公園の考え方の事例

- 東京都 だれもが遊べる児童遊具広場整備ガイドライン（2021年）
- 福岡市 インクルーシブな子ども広場整備方針（2023年）
- 長岡京市 いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり整備指針（2023年）

はじめに

本ガイドラインについて

I 現状と課題

- 1 現状
- 2 整備に向けての課題

II 整備

- 1 「だれもが遊べる児童遊具広場」の定義
- 2 整備のいろいろなケース
- 3 整備の基本的考え方
- 4 計画の手順
- 5 色彩計画
- 6 チェックリスト

III 遊具・施設

- 1 遊具・施設整備の基本的考え方
- 2 主な遊具
- 3 主な施設

IV 周辺施設

- 1 周辺施設整備の基本的考え方
- 2 主な周辺施設

V 管理

- 1 管理の基本的考え方
- 2 維持管理
- 3 安全管理
- 4 運営管理
- 5 情報の発信
- 6 継続的な改善

VI 参考資料

- 1 先進事例・参考事例
- 2 関係団体等のヒアリング結果概要
- 3 利用者モニタリング結果概要
- 4 用語
- 5 関係団体等
- 6 関係法令・基準等

▲東京都

はじめに

第I章 現状と課題

- 1 福岡市の公園の現状
- 2 現状の公園が抱える課題
- 3 本指針の位置づけ

第II章 整備方針

- 1 「インクルーシブな子ども広場」の定義
- 2 特に配慮すべき利用者
- 3 インクルーシブな子ども広場の目指す方向性
- 4 インクルーシブな子ども広場の構成要件

第III章 計画・設計

- 1 方向性
- 2 手順

第IV章 整備における配慮事項

- 1 遊び・周辺施設整備の基本的考え方
- 2 身体的遊びに関する配慮事項
- 3 精神的遊びに関する配慮事項
- 4 社会的遊びに関する配慮事項
- 5 アクセスに関する配慮事項
- 6 安全性に関する配慮事項
- 7 情報環境に関する配慮事項

第V章 管理

- 1 管理の基本的考え方
- 2 維持管理
- 3 運営管理
- 4 人材育成及び多様な関係者の参画
- 5 継続的な改善

▲福岡市

はじめに

1. インクルーシブ公園づくりの基本目標
2. インクルーシブ公園づくりの5つの原則
3. インクルーシブ公園づくりの進め方
4. インクルーシブ公園の整備内容

参考資料1 インクルーシブ公園チェックリスト

参考資料2 五感を大切にするインクルーシブ公園づくり

参考資料3 インクルーシブ公園の事例

▲長岡京市

② 整備の基本的な考え方について

■インクルーシブ遊具施設事例 ※近年改修した代表的事例

①複合遊具

いろいろな遊びの要素を取り入れた遊具。車いすや介助者の同行を想定し、広めのデッキやスロープを設ける。



▲富山県太閤山ランド



▲国宮昭和記念公園



▲都立砧公園

②滑り台

様々な種類がある人気の遊具。並んで滑れる幅が広いもの、体を支えられるものなど選択肢を設ける。



▲某幼稚園



▲和歌山県紀の川市民公園



▲東戸塚商業施設

③ブランコ

滑り台と並んで人気の遊具。多様な体格・姿勢に適応するためシートを複数種設ける。



▲練馬区豊玉公園



▲都立砧公園



▲都立明治公園

④振動遊具（スプリング、スイング系）

上下、前後、左右に揺れる遊具。ハンドルや背もたれなど工夫する。



▲都立舎人公園



▲都立砧公園



▲豊島区イケ・サンパーク

⑤音を楽しむ遊具

聴覚を刺激し、楽しむ遊具。誰もが利用しやすいよう高さや操作性に配慮する。



▲富山県美術館オノマトへの屋上



▲和歌山県紀の川市民公園



▲都立砧公園

⑥砂場

自由な発想で遊べる代表的遊具。車いす利用者も遊べるよう高さに配慮する。



▲平塚市総合公園



▲品川区大井坂下公園



▲世田谷二子玉川公園

② 整備の基本的な考え方について

■インクルーシブ遊具施設事例 ※近年改修した代表的事例

⑦舗装材

材料選定は安全性、耐候性、耐久性、衛生面に配慮する。



▲都立明治公園（人工芝）



▲恵比寿南二公園（天然芝+保護マット）



▲新宿区新宿中央公園（ゴムチップ）

⑧出入口

段差がなく、利用者の安全を確保した、わかりやすいデザインとする。



▲渋谷区恵比寿南二公園（車いす対応車止め+ピクトグラム）



▲新宿区花園公園（大きなサイン）

⑨案内サイン

利用の仕方、利用上の注意事項などをわかりやすく示した案内板を設置する。



▲都立砧公園



▲東戸塚商業施設



▲品川区荏原中央公園

⑩休憩所（テーブル・ベンチ）

広場の比較的見通しの良い場所に配置し、直射日光を遮る屋根なども考慮する。



▲和歌山県紀の川市民公園



▲大阪府門真市北島東公園



▲福岡県糸島市運動公園

⑪水飲み

利用シーンに合わせ、誰でも使いやすいよう操作性、高さに配慮する。



▲品川区戸越公園
（レバー+プッシュ式）



▲ニューヨーク Domino Park
（人、ペット兼用の多機能水飲み）



▲国営昭和記念公園
（どろんこ遊び用にシャワー併設）

⑫トイレ

バリアフリーとし、大きいベッド、オストメイトなどの設置検討し、広場の近くに配置する。



▲都立砧公園（オストメイト）



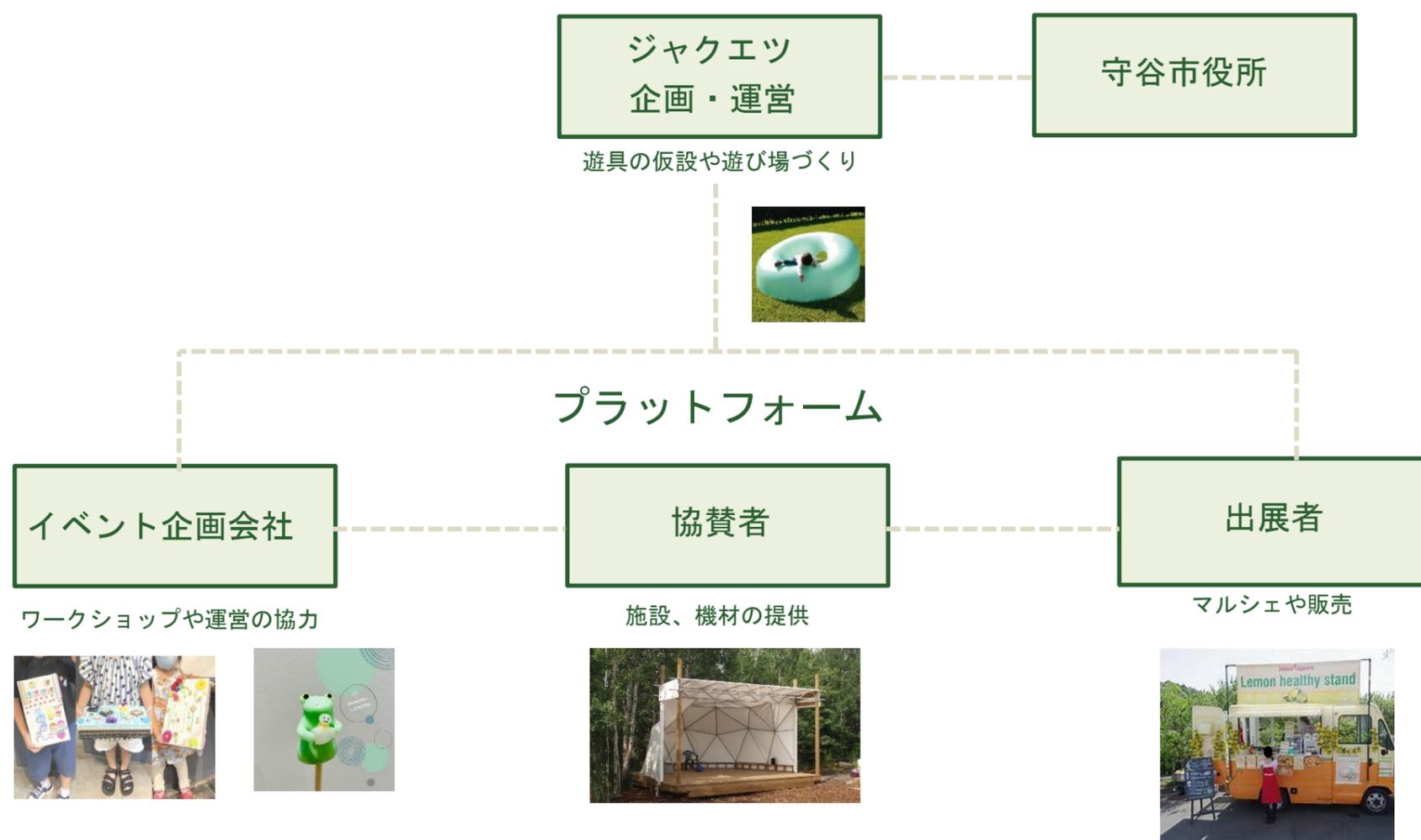
▲都立亀戸中央公園（大きいベッド）



▲練馬区豊玉公園
（広場の近くでありながら目隠し壁）

③ 社会実験の企画案

- ・ 候補日時：2024年11月中旬
- ・ 場所：守谷市内の大型公園
候補地（立沢公園、けやき台公園）



③ 社会実験の企画案

- ・ これからの公園の在り方を考えられる「体験型」のイベント（社会実験）とする
- ・ 大人も子どもも障害の有無も関係なく、「誰もが遊べる」イベントとする

メインコンテンツ

#1 インクルーシブ遊具で遊ぼう



みんなが遊べる遊具をいろんな方に体験いただき、インクルーシブ遊具の必要性を実感いただくイベント

#3 落ち葉を使って焼き芋体験



豊かな自然環境を生かした食イベントを開催
秋ならではの都会ではなかなかできない体験ができる

※コンテンツは変更の可能性があります。

#2 ドッグフェス



ワークショップにてたくさんの声が上がった「ドッグラン施設が欲しい」という要望を叶える
広々とした公園ならではのイベント
『犬のしつけ方教室』、『ドッグマルシェ』等
他のドッグイベントも検討

#4 防災体験

秋の防災訓練！
最新の防災対策を学ぶ



これからの公園には防災機能が不可欠
楽しみながら、防災について学べるイベントを開催する

サブコンテンツ

#5 昔ながらのあそび体験 ~竹馬をつくって遊ぼう!~



高齢の方と子どもたちが自然と触れ合える
あそび体験イベントを開催
昔ながらのあそびを次世代につないでいく
目的もある

#6 地元グルメを堪能しよう



ソウルフードを知らない地元の方は意外と多いのでは？
地元をすきになるきっかけのひとつになる「グルメ」で
地元の良さをアピールし、もっと住み続けたいとおもう
きっかけをつくる

+

⑤ 今後のスケジュールについて

時期	開催事項	主な内容
2024年11月頃	社会実験	目的：イベント式で誰もが楽しめる、過ごしやすい公園広場の体験 内容：来場者を対象とし、アンケートによる市民意見の収集
2024年12月頃	第四回検討会	社会実験結果共有・ガイドライン素案提示
2025年3月	第五回検討会	ガイドラインまとめ